

アイラブおの100 ~好きだからこそ頑張れる~

私の『おの100』との出逢いは突然だった。大学1年の10月にゼミの課外講座に興味本位で参加してみた所、今後いくら感謝してもし尽くせないであろう先輩と初めて出逢うことになる。講座の終了後に、初めて聴いた『おの100』という言葉が、一生忘れられない、忘れてはならない言葉となった。

“感動”の第4回。募集説明会に行き、参加を決意。リーダー養成に初参加の日、目に映る光景全てが真新しいものばかり。リピーターの先輩方についていくことに必死だった自分。気持ちの準備不足、自分とは違う想いの深さ・大きさを感じ、自分もこうなりたと思った瞬間から自分の中で何かが変わったように思えた。係任命式の日、学生ボランティアから学生リーダーになり、新たな使命感が生まれました。初めて経験する本番5日間でSNとしてフル稼働の自分。参加小学生の全員完歩がSN最大の喜びであり感動そのもの。多くの先輩方の後を歩かせてもらった第4回。『おの100』での借りは『おの100』でしか返せないと自分自身に言い聞かせ、ゴール直後に第5回への参加を決意しました。

“達成”の第5回。今年は自分の足でしっかり歩き抜くと意気込んで臨んだ第5回。第1次リーダー養成では、数多くの応援してくださる地域の方々の温かさに触れることができ、より一層気合いが入りました。しかし、準備期間では学生ボランティアを満身に集められずに、悔し涙を数多く流しました。第2次リーダー養成では、前年とは違い、気持ちの余裕と共にリピーターである責任を実感しました。5班の班付きリーダーとして参加小学生の一番近くで接することができた本番5日間、子ども達と共有した時間全てが教育であり、ゴールは凄まじい達成感でした。

“宿題”の第6回。最高学年として、何より学生ボランティアとして参加する最後の『おの100』である第6回。“今まで出逢えた全ての人、ものに感謝の旅にしよう”“自分の気付き・学び、経験全てを伝えて完全燃焼の旅にしよう”と心に誓いました。リーダー養成から第6回は試行錯誤の連続であり、多くの課題が見えた準備期間。そして、そのツケが見事なまでに廻る結果となった本番5日間であり、団長補佐としての自分自身の力量不足を痛感し、大きな宿題を頂いたラストイヤーとなりました。

『おの100』に3年間学生ボランティアとして携わることができ、もっと気付きたい、もっと学びたい、もっと気付くことの出来る人になりたい、もっと学ぶことの出来る人になりたい、という“向上心”が残りました。

1人では出来ないことでも、みんながいるから出来る、仲間がいること、同志がいることが私の『おの100』へ参加し続ける絶対的動機であるように思います。

ここ2年間、『おの100』のリーダー養成が始まるまでに必ずしていることがある。GWに実家へと帰省した際に、近所にある神社への参拝と前年の記念グッズ(記録映像、感想文集、報告書、写真、手紙.....)全てに目を通すことだ。過去をもう振り返りはしない。

来年以降も、学生リーダーとしての参加は出来ないが、きっと同じことを続けるだろう。

『おの100』の発展と、後輩の活躍を願って。

最後に、『おの100』での出逢いは一生の宝物。出逢いに感謝、感謝、感謝。